

## KOMAEわくわくストリートプロジェクト

## 楽しく遊べる道路めざし



人工芝を張った側道で積み木遊び



南北通路のベンチで休む人も

KOMAEわくわくストリートプロジェクトが10月22日(土)から30日(日)まで、粕江駅周辺で実施された。

道路を活用してにぎわいと快適な公共空間を楽しく、自分たちの場所にする社会実験で、駅前道路や広場を活用してにぎわいと快適な空間を創り出す歩行者利便増進道路(通称「ほこみち」)を実現するのが目的。国土交通省が全国で進めており、粕江市は都内初のほこみち指定を目指している。実施にあたって、市未来戦略室が地元の関係者やまちづくりに関わっている市民や企業などでプロジェクトチームをつくり、官民共同で準備を進めてきた。

期間中は町会、商店会、市民団体、企業など数多くの協力団体による趣向を凝らしたイベントが実施された。

噴水ステージでは音楽やダンスなどのグループが出演したほか、ステージの前に人工芝を張って座れるようにし、のんびりくつろげるテラスやアンテナショップとして使われた。

側道ではチョークで道路に落書きをしたり、人工芝を張った道路で積み木を楽しむコーナーが設けられたほか、絵手紙体験教室も開かれた。軽食や菓子、酒類などを売る屋台やキッチンカーが出店した。

小田急南北通路ではペットボトルランタン作りなどが行われたほか、柱に張った黒板シートに自由に絵が描けるチョークアートが設けられた。

改札口前の南北通路に置かれたベンチで休む人の姿が見られた。

期間中は親子の参加が目立ち、「普段の街とは違う雰囲気、楽しく安心して子どもと遊べて良かった」などと話していた。

粕江市では来年度以降に行う粕江駅周辺の道路の再整備に実験の結果を反映することにしている。

## 小学生が防災レシピ考案初のコンテストを実施

「第1回粕江市フェーズフリー防災レシピコンテスト」が行われ、小学生が考えた防災食の優秀作品が決まった。

日常的に使っている品やサービスを非常時にも役立てるフェーズフリー防災について、調理を通して考え、体験してもらおうと粕江市・こまえ親子防災部(横塚直美会長)が初めて催したもので、夏休み中の7月20日(土)～8月24日(土)に市内の小中学生からレシピを募集した。

審査の結果、最優秀賞に粕江第一小学校2年小林楓さんの「簡単米粉蒸しパン」、優秀賞に一小2年五十嵐倫さんの「いろいろやさしいチップ」、こまえ親子防災部賞に一小3年藤井想太郎さんの「心がホットな味噌ボール」、粕江第三小学校6年居川愛花さんの「トマトリゾット」、粕江第五小学校6年田部井音羽さんの「Gomaやっこ」、粕江第六小学校4年ポワルヴェ オセアンヌさんの「ツナ&トマトパスタ」が選ばれた。

審査にあたった松原俊雄市長は

「最優秀賞の簡単米粉蒸しパンは、紙コップなど避難所にある物でお菓子が作れる点が良いアイデアだと思った。今後もフェーズフリー防災に注目していきたい」と評価していた。

## 駅前でストリートラグビートンガ王国の選手5人が指導

粕江市ラグビーフットボール協会(富永幸伸会長)が13日(土)午前11時～午後2時30分にえきまえ広場で「令和4年度粕江市民まつりストリートラグビー体験会×トンガ王国チャリティイベント」を開催する。

このイベントは、市民団体の提案による今年度の粕江市市民協働事業。当日はトンガ王国出身のプロラグビー選手ら5人が参加、ボールの受け方や走り方などを指導するのに加え、トンガ王国の文化や、今年1月に起きた海底火山の大爆発などについて話す。参加するのはクリーンファイターズ山梨のマパカイトロ・パスカさん、日本代表で活躍し、現在はクリタウォーターガッシュ昭島コーチのオットロ・カトニさんのほか3人。また、都立粕江高校ラグビー部員がボランティアを務める。

プログラムは、ストリートラグビーが午前11時、午後12時30分、2時の3回で各1時間。トンガ王国文化交流は正午と午後1時30分。試合を盛り上げるパフォーマンス「ハカ」のデモンストレーションもある。

参加申し込みは当日会場で直接。来場者にラグビーボール100個をプレゼントするほか、海底火山爆発による被災者への義援金を募集する。

問い合わせ ☎090-3478-0435 ラグビーフットボール協会事務局辻村ともこさん。

## リニューアルを盛り上げエコルマほっとライブ

12月11日(土)にエコルマホール

がリニューアルオープンするのに先がけて、気運を盛り上げようと粕江市文化振興事業団が「エコルマほっとライブ」を企画、9月29日(土)に西河原公民館で第1回のコンサートが催された。

国内外で幅広い演奏活動を行っているピアニスト新居由佳梨さんがドビュッシー「月の光」など6曲を披露するとともに、ピアノにまつわる興味深いエピソードなどを披露。通常はオーケストラが演奏するホルスト「組曲『惑星』」より『木星』を1台のピアノで演奏、客席を埋めた聴衆からは大きな拍手が贈られていた。



演奏する新居さん



こまえくぼ 1234 からの便利

## おもいをカタチに

こまえくぼ1234が市民、市民活動団体を対象に主催、共催する事業

■第2回こまえくぼフェスティバル  
6日(土)午前10時～午後3時①えきまえ広場②市民活動支援センター。  
①えきまえ広場(1)粕江市シルバー人材センターダンス部(オープニング)(2)粕江こどものフレンドパーク=焼きそば、フランクフルト、ポップコーン、ダンゴ、ソフトドリンク、青竹スーパーボールすくい、手作りピンボール、輪投げ、ヨーヨー釣り、射的ほか(3)茨城県郷町の旬の野菜、魅力あふれる特産品と石川酒造(福生市)の地理院産  
②市民活動支援センター(1)フリース

## 粕江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

〒201-0003 粕江市和泉本町1-2-34 ☎5761-5556 FAX5761-5033 M info@vc.komae.org  
開館時間 午前10時～午後5時 休館日=火曜日、祝日、年末年始

第2回は11月10日(土)午後2時から西河原公民館でバイオリニスト松本蘭さん、ピアニスト酒井有彩さんがエルガー「愛の挨拶」、ベートルズメドレーなどを演奏する。

第3回は12月10日(土)午後2時からプレ・コンサートとしてエコルマホールで新居さんと松本さんのデュオでラヴェル「亡き王女のためのパヴァーヌ」、チャイコフスキー「バレエ『くるみ割り人形』より」などを演奏する。

入場料は全席指定各500円。

問い合わせ ☎3430-4106(一財)粕江市文化振興事業団。

## 9日から秋の火災予防運動 リチウムイオン電池に注意

秋の火災予防運動が9日(土)から15日(木)まで行われる。

東京消防庁管内ではリチウムイオン電池関連の火災が増加しており、令和3年は141件と前年より37件増加、この5年間で最多となった。リチウムイオン電池はモ

バイルバッテリー、携帯電話、タブレット、パソコンなどに広く使われている。

消防庁では火災を防ぐために①可燃物や不燃ごみに混ぜて廃棄しない②電池を無理に外したり分解しない③充電器は購入時の付属品やメーカー指定の物を使う④異常があったら使用をやめ、メーカーや販売店に相談する⑤購入する時は、電気製品が安全性を満たしていることを示す「PSEマーク」が付いている製品を選ぶ。モバイル機器の安全性向上に取り組んでいる団体(MCPC)の評価試験に合格した製品を示す「MCPCマーク」が表示される製品を選ぶよう呼びかけている。

このほか、煙や熱を感知して火災の発生を知らせる住宅用火災警報器をすべての居室、台所、階段に設置し、半年に1回以上、定期的に作動を確認するよう呼びかけている。

問い合わせ ☎3480-0119 粕江消防署。

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

ペースー講演会と市民活動紹介＝○午前10時～11時、第6回粕江☆サミット、講師：麻宮百さん(元B.Bクイーンズ・元Mi-Ke)、テーマ：一歩踏み出すコミュニケーション～やさしく、かるやかに、あたたかく～○午前11時～正午災害ボランティアセンターについて○正午～午後3時、粕江音訳グループ、調布学園、コロナこどもプロジェクト(2)駐輪場～午前10時～午後3時市民活動団体による販売・ワークショップ・体験  
■体験@こまえくぼ「見えない人の世界を知ろう」

21日(土)・28日(土)午前10時～正午 こまえくぼ1234。視覚障がいの人

と話をしたり、誘導の仕方や点字について学ぶ(※市内在住・在学・在勤者)各回10人

## フリースペースイベント

フリースペースで行われる参加できるプログラム

## ■おりがみサロン

2日(土)午後1時～3時。折り紙でボランティア活動、交流

## ■切手カフェ

11日(土)・18日(土)午後1時～3時。古切手の整理。古切手の収益をボランティア事業に使用

## 今月のこまえくぼ

休館日=1日(土)、3日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、23日(土)、29日(土)

